



南町小だより

つよく かしく あたたく

平成28年4月6日

校長 福田 俊彦

平成28年度 南町小学校の教育活動 ―新たな3学期制の中で―

校長 福田 俊彦

春の息吹を強く感じる4月6日。新1年生を迎え平成28年度練馬区立南町小学校の教育が始まりました。本校では、昨年度、「みんなの子供をみんなで育てる学校」「子供が子供をはぐくむ学校」「子供が生活を創る学校」をめざし、子供たちの具体的な成長をもとに教育活動を充実させてきました。学校生活における子供たちの経験は、次の生活を創るエネルギーになったと考えています。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、南町小学校がめざす学校の中で育つ子供たちをみんなの子供として、今年度も見守っていただけますようお願いをいたします。

また、本校は昭和47年度から人権尊重教育の研究を進めてきました。現在は、小中一貫教育、幼保小連携も踏まえつつ、「ちがいを認めて 共に生きる」の研究主題のもと、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができる子供」「互いを認め合い、差別をしない・させない・見過ごさない子供」をはぐくむことを教育の根幹に置いています。子供は、多くの仲間、地域社会との関わりの中で生活をしています。関わるという経験は、自他の大切さを感じ、考える機会になります。身の回りの状況を踏まえつつ自分の行動を決め、自分を成長させる機会になります。その機会を大切にしたい教育活動を積み重ねていきます。

1 「子供が生活を創る」「子供が子供をはぐくむ」 南町小の文化、そして伝統に

今年度もあこがれの6年生です。子供は学校生活の中で上級学年や仲間から学ぶ機会を多く得ることができます。互いのがんばりや励ましを受けとめ合っています。声をかけてくれる仲間。話を聞いてくれる仲間。自分たちでよりより学校生活を創ってきたことに自信をもち、更なる高みをめざしていく仲間。そして、年齢の異なる仲間と活動する場面も、人と人との間を温かくする機会となっています。これまでに多くの卒業生が創ってきたこのような南町小学校の文化、伝統は、在校生に引き継がれていきます。

2 「自分の命は自分で守る」 危険を回避する力の向上を

「自分の命は自分で守る」。自然災害、不審者、交通事故、多機能情報発信器の使用にもなうトラブルなど、子供を取り巻く環境から起こる問題があります。特に、今年度は、SNS学校ルールを各家庭にお知らせし、家庭のルール作りに活用していただきます。自分を守る力を高めていくには、訓練や学習を積み重ね、自らの言動を振り返ることが大事になります。自らがキーワードです。学校では、避難訓練やセーフティー教室、情報モラル教室、交通安全教室などの場を計画的に設け指導を継続していきます。ご家庭でのお子様との話題に取り上げてください。

3 「わかる」「できる」授業を 子供が主となる授業展開を

「もう終わってしまうの。」「もっとしたい。」子供の声として聞かれる授業がありました。このような授業を増やすため、ねらいを明確に示します。何を、どのように学習するのかを伝えます。子供が学習に戸惑いを感じないように説明や質問をより具体的にします。授業の途中でも学習内容を確認できる黒板への書き方を進めます。後で復習に役立つノート記録の仕方を充実させます。そして、分かったこと、復習しなければならないことを自問自答し、次の目標をもてるような振り返りの時間をとります。保護者、地域の皆様にはこのような授業の様子をご参観くだされば幸いです。

子供が自分の成長を自覚し、力を高めていける教育活動を展開していく平成28年度にしていきたいと思います。本年度も本校の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。